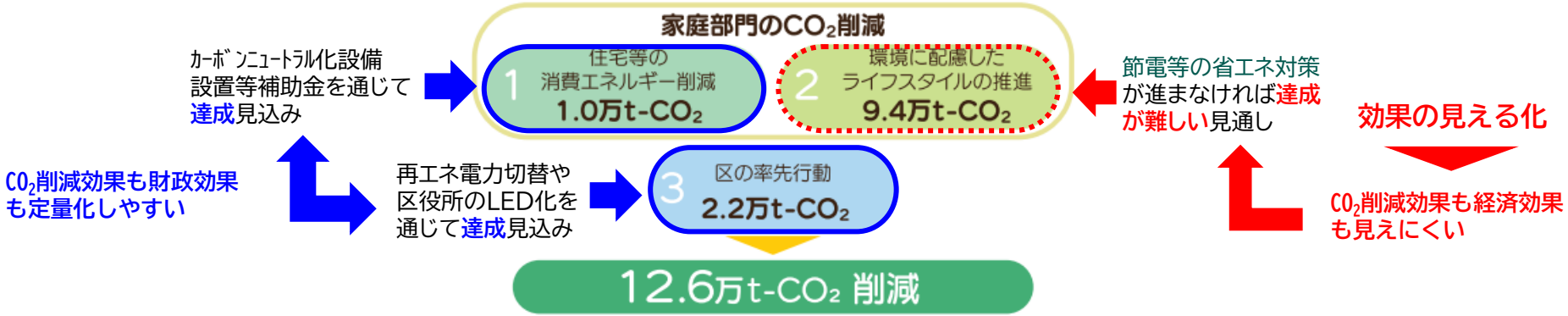
環境に配慮したライフスタイルの推進（補足資料）

資料１

令和７年３月２７日
環境部環境課



1　現状と課題

取組	重点的な取組内容	効果測定方法	課題の検証（要因分析）
住宅等の消費エネルギーの削減	補助金交付を通じた、区民等の省エネ・再エネ設備の導入促進	補助事業の実績	●限られた財源の中で、排出削減効果が高い設備を導入してもらえるよう補助する必要がある。 ●補助金の活用を契機に、より一層の省エネに取り組んでもらう必要がある。
環境に配慮したライフスタイルの推進	省エネの取組や再エネ導入の周知・啓発を通じた区民の行動変容対策の実施	ｴｺﾗｲﾌﾁｪｯｸを通じた省エネの実践率	●エコライフチェックの実施時に限らず、より一層の省エネ対策を継続して取り組んでもらう必要がある。 ●関心のない区民等に、省エネについて理解し、考え、実際の行動につなげてもらう必要がある。
区の率先行動	区立施設のＬＥＤ化や電力の再エネ切替の加速化	法定報告	●率先して取り組んできた区の再エネ切替の取組を発信し。区民等の行動変容につなげていく必要がある。 ●より一層、再エネ導入の取組を加速化させるとともに、効果的な一次消費エネルギー削減に取り組む必要がある。

2　今後の取組　～ ５段階の行動変容のステージ ～

現時点では、省エネに無関心であっても、将来的に、省エネの取組が定着するよう、それぞれのステージに応じて、効果的な施策を展開していく

施策の展開例

無関心期	無心期	準備期	実行期	継続期
行政や先駆的な民間企業が率先的に取組む	取組内容について多様なメディアを通じて発信する	区民や事業者が自らの取組につなげるための導入ツールを提供・発信する	区民や事業者の導入を促進するための支援策を提供する	導入効果が実感できるよう効果の見える化を図る